

備中町の人口増加を目指して

富家小5、6年生が2つの提案

備中町の良いところは「自然が豊か」「周りの人がやさしい」など大好きな備中町がいつまでもこのままであって欲しい・・・そう願っている富家小学校の5・6年生。そんな子供たちの思いに担任の千種悠介先生は「人口が減り、高齢化も進んでいる。このままでは町がどんどん寂れていくのでは・・・さあ、どうすればいいのか？」と投げかけたところ、子供たちは、町の人口を増やすために2つの提案をしました。



▲1月5日、市役所市民ホールで発表する子供たち

ICT支援員として定期的に同校を訪れる高梁市移住コンシェルジュの山縣麻理子さんは、学習発表会に向けて練習していた様子を見て、子供たちの考えをもっと多くの人にも知ってもらいたいと考え、市役所の市民ホールを借りて発表することを提案し、1月5日昼休みの時間を利用して行うことができました。

①農業で人口増加

- ・利用されていない畑や田、空き家を活用し、農業をしたい若者を呼び込む。
- ・初めての人でも農業ができるように廃校など利用して「**大人の農業スクール**」を作る。運動場を畑にして農業体験や機械の使い方などを地域の人から習う。

②施設で人口増加

- ・使われていない施設を利用して、勉強、料理、自然体験などできる「**スーパー子ども塾**」を開設する。運営は地域の人たちにお渡し、料理や昔遊び、野菜の作り方などここでしかできない体験を提供することで人を呼び込む。



▲明るくて元気、そして備中町が大好きな5、6年生。

まとめ

備中町の人口を増やすためには
備中町のよさをいかす
ここにあるもの
ここに人と一緒に

防災力のアップを目指して

平川地域自主防災会研修会



▲AEDの使い方を学ぶ



▲119番のかけ方などの指導を受ける



▲テニスボールを使って心臓マッサージの練習を行う



▲段ボールベッドを組み立てる

▲3月6日(日)、ひらかわいこいの家で、平川地域自主防災会(江草光政会長)の研修会が開催されました。研修会には、市防災復興推進課の加藤実主査を講師に招き、日常生活の中で突発的に起きた事故等に対して、落ち着いて対応できるようにと119番のかけ方や応急処置、AEDの使い方などの指導を受けました。防災組織の結成は町内では平川が初めてで、この日は役員など30人が受講されました。



4つのテーマで意見交換

11月19日、備中地域局で、備中地域まちづくり懇談会が開催され、出席した委員11名と市長が「公共交通」「ゴミの削減・有料化」「公共施設の再編」「地域振興交付金の活用」の4つのテーマで約2時間意見交換をしました。

テーマごとの市の考え方(要旨)は次のとおり。

【公共交通】公共交通の関連支出は年間2億6千万円を超えており、財政状況も厳しい状況に陥りつつある。バス路線の維持に必要となる経費の増大が見直しが求められる。また、タクシーの利用率の低下も課題となっている。

【ゴミ問題】人口は減少しているがゴミの量は減っていない。また、リサイクル量も年々減少している。回収コストの削減が課題となっている。

【地域における公共施設の再編】公共施設をすべて維持していくことは財政的に不可能で、現在の4割を削減せざるを得ない状況となっている。例えば、老人ホームや保育園を統合して1カ所(成羽)に建設した。施設を再編・統合することで経費削減も図っていききたい。コミュニティ施設については、維持していきたいと考えている。

まちづくり事業 予算の6割を執行 令和3年度決算(見込)

令和3年度まちづくり事業の実施状況(2月末現在)は、下表のとおりです。3年度も新型コロナウイルスの影響により交流事業など各種イベントが相次いで中止となったことで、執行率は予算額に対し6割程度になる見込です。

コミュニティ地域の維持・活動を支援する住民自治活動促進事業補助金は4,021千円。地域活力創造事業のうち、福祉のむらづくり事業など生活の安心安全確保事業には1,382千円。その他地域イベントなど地域活性化事業に956千円と団体等への補助金総額は2,927千円。協議会運営費(委員報酬、事務費等)は350千円の見込です。

令和3年度事業実施状況

(単位:千円)

事業名	予算額	決算見込額
1, 住民自治活動促進事業	4,021	4,021
2, 地域活力創造事業		
①産業振興関係	200	270
②生活の安心・安全確保	1,372	1,382
③地域活性化対策	4,450	956
④交流、移住、定住	100	0
⑤地域の歴史と文化	350	0
⑥自然・景観保全	500	319
⑦人材育成	300	0
⑧その他事業	200	0
⑨協議会運営事業	807	350
地域活力合計	8,279	3,277
総計	12,300	7,298

令和2年国勢調査速報値

()は5年前の数値

高梁市29,072人(32,075人)▲3,003人内訳

旧高梁市19,016人(20,767人)▲1,751人
有漢町 1,966人(2,173人)▲207人
成羽町 4,071人(4,430人)▲359人
川上町 2,426人(2,738人)▲312人
備中町 1,593人(1,967人)▲374人

*高梁市人口ビジョン(2020年改訂)によると備中町の人口は、2030年に1,059人、2040年には692人と予測が示されています。

【地域振興交付金】現在の使い方でと13年ほどで基金が枯渇する。コミュニティの維持に必要となる経費の増大が見直しが求められる。また、タクシーの利用率の低下も課題となっている。

【ゴミ問題】人口は減少しているがゴミの量は減っていない。また、リサイクル量も年々減少している。回収コストの削減が課題となっている。

【地域における公共施設の再編】公共施設をすべて維持していくことは財政的に不可能で、現在の4割を削減せざるを得ない状況となっている。例えば、老人ホームや保育園を統合して1カ所(成羽)に建設した。施設を再編・統合することで経費削減も図っていききたい。コミュニティ施設については、維持していきたいと考えている。

【地域における公共施設の再編】公共施設をすべて維持していくことは財政的に不可能で、現在の4割を削減せざるを得ない状況となっている。例えば、老人ホームや保育園を統合して1カ所(成羽)に建設した。施設を再編・統合することで経費削減も図っていききたい。コミュニティ施設については、維持していきたいと考えている。

